



<p>司会：渡部課長</p>	<p>講演終了後、「普段からできること、しておいた方がよいこと」というテーマで、グループワークをしました。</p> <p>多職種で地域を支え合うための情報共有についての研修ができたものと思います。</p> <p>また、久喜社協で作成している「あんしんカード」、久喜市が提案している、「通院・入院時安心セット」により、救急時にも慌てることなく対応できるものと思います。</p> <p>今確認したところ、「あんしんカード」につきましては、ダウンロードができないということでしたが、有効なものなので、ダウンロードができるように検討していただくことにしました。</p> <p>令和6年1月と8月に研修を行いました。これらをまとめて、令和6年度久喜市医師会誌に投稿いたしましたので、お読みいただけると幸いです。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長：関谷座長</p>	<p>関谷座長ありがとうございました。</p> <p>これからは、久喜市在宅医療・介護連携推進会議設置要領第五条第2項の規定によりまして、関谷座長に議長をお願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>はい。</p> <p>ご指名ですので、議事進行を務めさせていただきます。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>円滑に協議が行えますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、最初に本日の会議の議事録署名人を、確認させていただきます。</p>
<p>熊懷委員 議長：関谷座長 高橋委員 議長：関谷座長</p>	<p>資料1-2で配布いたしました、委員名簿の順で、3番目の熊懷真吾委員と、14番目の高橋美佐江委員をお願いしたいと思います。</p> <p>熊懷委員よろしいでしょうか。</p> <p>了承いたします</p> <p>高橋委員、よろしいでしょうか。</p> <p>了承いたします。</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>それでは本日の協議事項に移りたいと思います。</p> <p>まず、協議事項(1)「第1回久喜市在宅医療・介護関係者研修会の報告について」でございます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>はい、高齢者福祉課加納と申します。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>令和6年8月20日火曜日に開催いたしました、令和6年度第1回在宅医療・介護関係者研修会についてご報告いたします。</p> <p>今回の研修会につきましても、委員の皆様には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。</p> <p>では、資料4-1をご覧ください。</p> <p>研修会参加者につきましては、医師10人、歯科医師10人、薬剤師10人、訪問看護師等5人、病院医療相談員3人、介護支援専門員17人、訪問介護員6人、在宅医療サポートセンター看護師1人、地域包括支援センター職員9人の計73人で行いました。</p> <p>在宅医療と介護連携のイメージの在宅医療の4場面別にみた連携の推進として、急変時の対応をテーマに、在宅生活における医療と</p>

介護の関係者に集まっていただき、講演とグループワークを行いました。

第1部につきましては、埼玉東部消防組合、久喜消防署、救急救命士星野卓氏による「患者の急変時における救急隊との情報共有について」という題で、救急隊が必要とする情報と現場の事例を交えてご講演をいただきました。

また第2部のグループワークにつきましては、新井病院院長で本会議座長の関谷栄先生に総合司会をお願いし、第1部の内容からテーマを、「事例から考えてみよう！普段からできること。しておいた方がよいことなど」をテーマに、3事例についてグループワークを行いました。

講義からは、

- ①患者の情報手帳、お薬手帳、家族の所在を普段から用意しておくこと。
- ②急変時などのときに素早く問い合わせる場所に置いておく重要性。
- ③日頃、患者に関わる人たちの情報共有ツールが大事であること。
- ④ケアマネとしても知りたい情報をまとめておく必要があると感じた。
- ⑤ヘルパー介入時に救急要請したことがあり、事業所内で必要な情報をまとめた。

など、救急隊が必要としている情報を理解していただくことができました。

グループワークからは、

- ①対処方法や情報共有など、普段から備えておくことが大事。
- ②家族への説明をしっかり行い、末期で終末対応を考えておくことが大事。
- ③独居や医療、介護の介入の少ないケースだと、情報収集が難しいと感じた。
- ④あんしんカードの有効性、地域との繋がり大切さ、介護保険についての周知、理解の促進の重要性を感じた。

との意見がありました。

次に、資料4-2の1ページから6ページ、資料4-3をご覧ください。

グループワークで発表されたものをまとめたものでございます。多職種での話し合いを踏まえて、多くのご意見をいただきました。

事例により話し合いが難しかったのですが、事例1では、「ご本人の意思を尊重し、終末期を家族はどのように過ごしたいか。遠くにいる家族にも話をして、キーパーソンを決めておく。担当者会議に参加していただく。急変時はかかりつけ医に連絡する」などのご意見がありました。

事例2では、「介護申請をしていなかったもので、年齢等を考えて、医療機関から介護保険の提案やサービスの利用など、声をかけてもらっても良いのではないか。あんしんカードを活用し、ご家族の連絡先を記入しておいていただく。」などのご意見がありました。

事例3では、「年齢も50歳代と若く、民生委員や介護保険の関わ

<p>議長：関谷座長</p>	<p>りもなく、地域の方との関わりが薄いので、拒否されるか受診に繋がらないか、難しい状況ではありますが、意思表示ノートやあんしんカード、民生委員や行政などに関わりが持てるようになると良い」というご意見がありました。</p> <p>続きまして、資料4-4をご覧ください。</p> <p>研修参加者73人のうち65人から回答いただいたアンケートの結果でございます。</p> <p>今回の研修では、テーマについて、「よい」と答えてくださった方が62人で95.4%でした。</p> <p>また、3ページと4ページには講演やグループワークで得られたこと、感じたことについて、職種ごとの意見をまとめております。先ほどご紹介させていただきました。</p> <p>今後、医療と介護の多職種による利用者支援の実際の場面で、円滑な連携に活かしていただける内容であったと思われま。</p> <p>続きまして、3ページをご覧ください。</p> <p>「今後、研修会で取り上げて欲しいテーマ」についてのご意見を記載しております。</p> <p>「通院から在宅へのシームレスな包括的医療・介護のための、病・診・介護連携のあり方について」や、「認知症の患者の対応について」、「マイナンバーカードによる医療・介護連携について」、「引きこもり家族（息子・娘）を抱える高齢者」、「緊急連絡先がない独居の方の対応について（医療、介護）」、「身寄りがない方への支援」など、ご意見をいただきました。</p> <p>今後の研修のテーマを検討する上で、皆様からのご意見を参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>研修会におけるグループワークを継続することで、他の職種の方との顔の見える関係づくりだけではなく、実際の円滑な連携の促進にも繋がるものと考えております。</p> <p>今後におきましても、さらに多職種の共通理解と連携の促進のため、引き続き、在宅医療・介護関係者研修会を実施して参ります。報告は以上です。</p> <p>はい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、研修会についての報告がありました。</p> <p>何かご質問または感想がございますか。</p> <p>本当に在宅医療・介護を支えていくのに、いろんな職種の人が協力し合っていくと、うまくいく。でも、その協力がうまくいかないとならば、孤独死みたいな形でとか、通院が、ずっと中途半端に止まってしまふ、というようなことがおこって、この時代ということになると思っております。</p> <p>本当に多職種の方が、情報を共有して、円滑にやっていくことが非常に重要だと、今回の研修を通じて思いました。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それではですね、協議事項の（1）の、「第1回久喜市在宅医療・介護関係者研修会の報告について」は、ここで終了させていただきます。</p> <p>続きまして、協議事項（2）、「第2回在宅医療・介護関係者研修会の開催について（案）」です。</p> <p>事務局から、説明をお願いいたします。</p>
----------------	---

<p>事務局：加納補佐</p>	<p>(2) 第2回在宅医療・介護関係者研修会の開催について、ご説明いたします。</p> <p>資料5をご覧ください。</p> <p>令和6年度第2回在宅医療・介護関係者研修会の開催に関する案をお示ししております。</p> <p>この研修会は、地域の医療と介護の関係者が共通理解と情報共有に努め、他職種連携を推進するために実施するものでございます。</p> <p>研修会の参加により、知識の習得とともに顔の見える関係づくりを行うことで、今後の在宅医療と介護関係者との連携を、円滑に図ることができるものと考えております。日時は令和7年1月28日火曜日、午後7時から9時、会場につきましては、鷺宮行政センター（旧鷺宮総合支所）の4階、407・408会議室で、参加者につきましては、医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員等、約80人を予定しております。</p> <p>第1部では、「歯科医師からみた誤嚥性肺炎の予防について」と題しまして、久喜市歯科医師会の先生に講師をお願いしております。</p> <p>第2部では、グループワークを行う予定です。</p> <p>グループワークは1グループに各職種が配置されるよう、参加者数を分けて行い、また、タイムスケジュールにつきましては、次のページに記載した通りでございます。</p> <p>これらにつきまして協議をお願いいたします。</p> <p>(2) 第2回在宅医療・介護関係者研修会の開催については以上でございます。</p>
<p>議長：関谷座長</p>	<p>はい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から、「第2回在宅医療・介護関係者研修会について(案)」の説明がありました。</p> <p>何かご質問はございますか。研修会の日程の報告がありましたので、出席のほどのご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>今の原案ですと、これは第2回の在宅医療・介護関係者研修会は、この方針でお願いいたします。</p> <p>それでは協議事項(3)その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>(3) その他についてです。</p> <p>説明は、2点ございます。</p> <p>まず1点目ですが、今回、会場変更に伴い、メールでもお知らせをさせていただいたところですが。</p> <p>第3回目の在宅医療・介護連携推進会議のお知らせの方法について、ご希望を聞かせていただきたいと思います。</p> <p>つきましては、お手元にお渡ししました用紙にご記入の上、お帰りの際は、事務局までご提出くださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、本日ご記入いただけない場合は、10月31日までにメールまたはファックスでお知らせください。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>通知に関しましては、1ヶ月前をめどにお知らせいたします。</p> <p>次に2点目です。</p> <p>資料6の久喜市医療・介護・地域情報検索システム（けあプロnaviくき）に掲載する医療機関、薬局情報の確認のご協力について</p>



した。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年11月13日

議事録署名人 議長 関谷 栄

議事録署名人 委員 熊懐 真吾

議事録署名人 委員 高橋 美佐江